

保育闘争委員会ニュース 公的保育を守り拡充させよう

2012年
6月8日(金)
第76号

発行 = 東京自治労連保育闘争委員会 Tel.03-5940-7951 Fax.03-5940-7957 honbu@tokyo-jichiroren.org

署名、6/12までに全保連に集中を！

衆議院社会保障・税一体改革特別委員会で、消費税増税法案や「新システム」関連法を含む法案審議が行われていますが、野田内閣・民主党は、自民党、公明党との修正協議を呼びかけ、自民、公明が協議に応ずる態度を決め、6月12日、13日には中央公聴会の開催が決まりました。12日午後2時から「新システム」関連法の意見陳述と質疑が行われます。さらに14日にも特別委員会が開催されます。

日程どおりに6月21日の会期末で国会が閉会する可能性も出てきましたので、手持ちの保育署名は、6月12日必着で全保連に送ってください。6月12日には議員要請・国会傍聴もあります。集合：6月12日（火）12：00 衆議院第一議員会館ロビー集合。

世田谷、民間保育園訪問の手記

「新システム」への不安、疑問出される 「公立・私立、保育への願いは同じ」

民間保育園訪問の提起を受け、当初は「私立保育園の園長は公立をどう思っているのだろう」「予算のことなど、公立としてよくわからないことで議論ができるか」など、不安や躊躇もありましたが、思いきってアポを取り、出かけました。まだ、2園ですが、行って良かったと思っています。

1園目では30分の予定でしたが、話が弾み、1時間半も懇談しました。「厚労省の人が私立園長会で説明したが、まだ決まっていないということが多かった」「サービス推進費はどうなるのか」「人件費を下げざるをえない」「認証保育所は子どもの権利より親の利便性を優先している。企業が入ることが心配」など、新システムが入ることでの心配がたくさん出されました。総合こども園の「学校教育」を先取りした他区での公立保育園の就学前教育の状況を伝えると、「公立がそうなっているとは全然知らなかった。区内の認可保育園でも保護者の要望に応じて〇〇教室などを始めている園が増えている」と話しました。この他、同じ園長としての運営上の悩みや保育のことなど初対面とは思えないほど和やかに懇談ができました。「もっと早く知り合ってこんな話ができればよかったですね」と言われました。そして、訪問時お渡しした署名用紙3枚をすべて埋めてすぐに送り返してくれました。公私立と、立場は違っても保育に対する願いは同じとの思いを強くしました

2園目の園長先生は区内の私立園長会で新システムを検討する役員になったということで、訪問すると「これから学習会などしたいが、講師を紹介してほしい」と言われました。この園は福保労の分会がありますが、取り組みとしてはあまり進んでいないようで、園長としてもこれからどうしていこうかと考えていたところとのことでした。ここでもサービス推進費の話が出て、「当初は1ポイント20万円だったのが、今は5万円になってしまった。経営上大変」「認証保育所で働いていた人を複数採用した。はっきりは言わないが、ここで保育を受ける子供たちは幸せですねと、暗に認証保育所の保育条件の低さを話している」とのことでした。又、法人の本部が三多摩にあり、その市職労はどのような立場なのかと聞かれたので自治労連と自治労の違いを説明しました。区議会でも新システムに関する陳情書が審議された直後だったので、このことも伝え、又「今後分会で学習会をするとき、お誘いします」と言うのと「ぜひお願いします」と言われました。

3園目は区内では様々な事業を精力的に展開している園なのですが、訪問をお願いしたところ、

私立園長会での担当園長に聞いてくださいとやんわり断られましたが、資料の受けとりはokでした。世田谷は認可保育園を増やしているので、全部の保育園を訪問することは大変ですが、これをきっかけに、新システム反対の運動とともに、世田谷区の保育を一緒に考えていく取り組みをしていきたいと思います。（木村分会長記）

東京新聞

1面トップで「新システム」批判連打

東京新聞は、6月6日から1面トップで「どうなる保育改革」シリーズの掲載を始め、6月6日は『保活』親の人生左右」と題し深刻な待機児童対策を特集、合わせて直接契約制に変わる等の制度説明と問題点の指摘を行っています。6月7日には『もうける』参入解禁」と題し、もうけを求めての企業参入と問題点を指摘、6月8日には「危うい待機児童解消」と題して、結局は小規模保育での対応や小宮山厚労大臣の「待機児童という概念がなくなる」との答弁を紹介しています。いずれも1面トップの大きな紙面で報道しています。

「新システム」導入の口実がいずれも崩壊し、反対の運動が広がってきていることの反映です。

【傘下の組織や保育関係者に配信・配布してください。配信希望者は氏名と所属、「保育闘争委ニュース希望」と明記し、パソコンよりメールでお申し込みを。内容を圧縮した「携帯メールニュース」は携帯からメールでお申し込みを】